

地下鉄南北線中島公園駅及び幌平橋駅の都市計画変更案について

1 都市計画の内容

都市高速鉄道の区域の変更

○位置 起点：札幌市北区北 40 条西 5 丁目
終点：札幌市南区真駒内東町 2 丁目

主な経過地：札幌市中央区大通西 4 丁目

○変更箇所的位置 札幌市中央区南 9 条西 4 丁目（中島公園駅）
札幌市中央区南 15 条西 4 丁目（幌平橋駅）

○面積 中島公園駅 約 3、100 m²
幌平橋駅 約 2、700 m²

2 経緯

南北線は、北区の麻生駅を起点として南区の真駒内駅を終点とする駅数 16 駅、延長約 15.3km の路線であり、昭和 43 年 8 月に第 1 号線として都市計画決定している。

今回変更する中島公園駅および幌平橋駅は、現在、鉄道に関する技術上の基準を定める省令（平成 13 年 12 月 25 日国土交通省令第 151 号）第 29 条に基づく、地下鉄道の火災対策基準の「プラットホームから地上までの異なる 2 以上の避難通路」の項目が未適合となっている。

この度の変更案は、当該基準に適合させるため、新たな避難経路を追加するものである。

3 変更の理由

火災対策基準適合化のため、ホーム～コンコース間の連絡階段を設ける。

【参考】

去る平成 15 年 2 月に韓国で発生した地下鉄火災の現地調査を踏まえ、国土交通省を主体に「地下鉄道の火災対策検討会」が設けられ、このなかで、これまでであった昭和 50 年の火災対策基準が今年度見直された。

なお、当該駅の工事は一部国庫補助を受け、中島公園駅については平成 18 年度～20 年度、幌平橋駅は平成 18 年度～19 年度で実施ことを予定している。

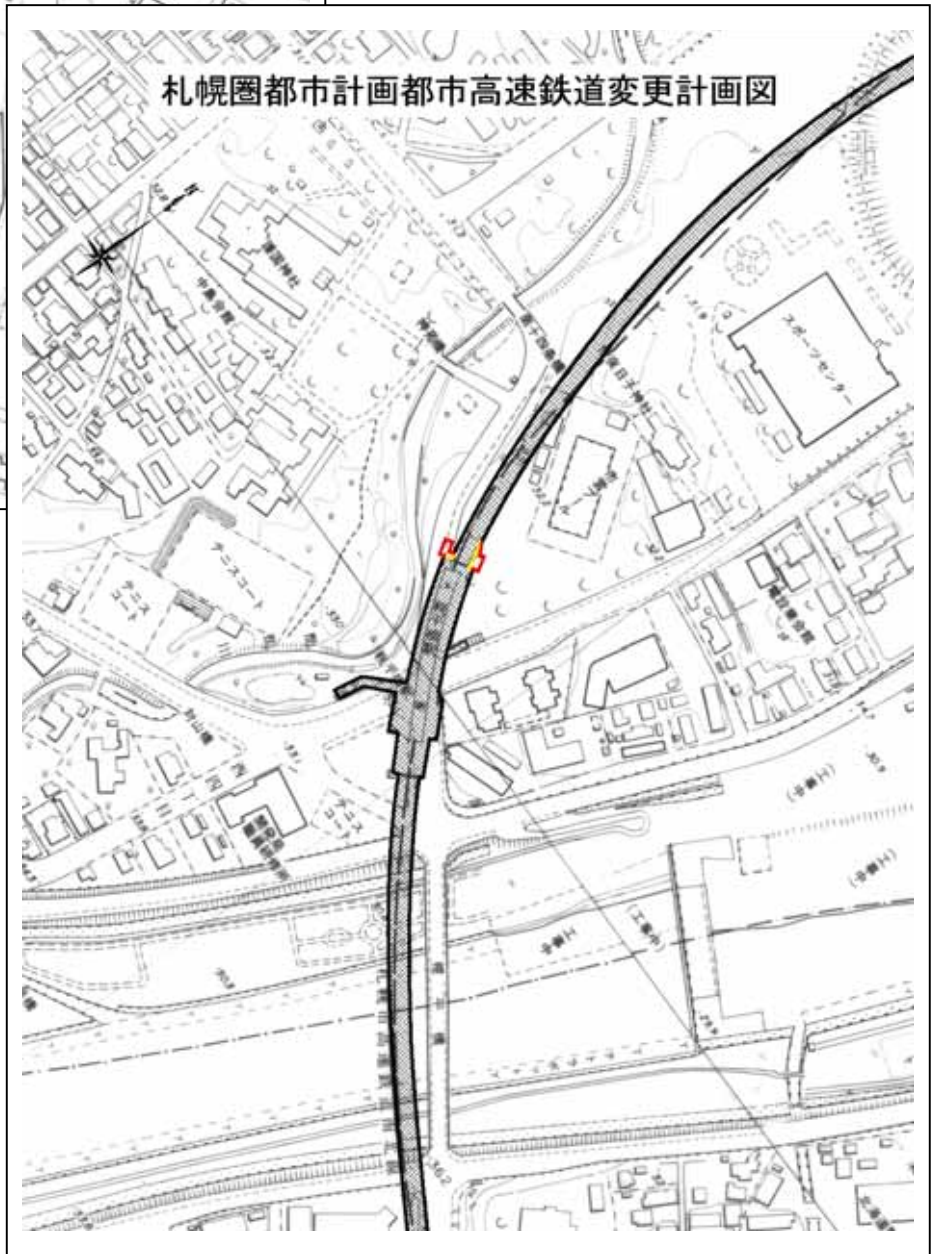
札幌圏都市計画都市高速鉄道変更計画図



中島公園駅計画図

幌平橋駅計画図

札幌圏都市計画都市高速鉄道変更計画図



凡 例

	変更前の区域
	変更後の区域